条例素案

1. 条例の名称

八王子市男女共同参画社会の実現を目指す条例

2. 前文

日本国憲法に個人の尊重と法の下での平等がうたわれ、男女共同参画社会の実現に向けて国において法整備などが進められてきた。本市においても、平成11年に「男女共同参画都市」を宣言し、以後「男女が共に生きるまち八王子プラン」に基づき、男女共同参画に関する総合的な取組を行ってきた。

しかしながら、この間、女性の社会経済分野への進出は著しく進む一方で、社会全体において固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みに基づく社会慣行等が依然として根強く残っており、また、暴力など性別に因る権利侵害など、多くの課題が残されている。

若者が多く集まる学園都市であり、企業が多数集積する本市においては、家庭、職場、学校、地域などのあらゆる場面において、性別、年齢、国籍などによる違いを受け入れ、多様性を認め合っていくことが、人生100年時代において、すべての人が元気に活躍し、活力のある持続可能なまちづくりの原動力となる。

未来を担う子どもたちのためにも、未だ課題が残る男女共同参画を、市、市民、教育関係者、事業者及び地域活動団体が一体となって早急に推進し、男女があらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受し、共に責任を担うべき男女共同参画社会を実現することを決意し、この条例を制定する。

3. 総則

(1) 目的

この条例は、男女共同参画の推進に関する基本理念を定め、市、市民、教育関係者、事業者及び地域活動団体の責務を明らかにするとともに、市の男女共同参画に係る施策（以下「施策」という。）の基本となる事項を定めることにより、施策の総合的かつ計画的な推進を図り、もって様々な場面において、男女が共に参画する社会の実現を目的とする。

(2) 定義

別紙のとおり

(3) 基本理念

男女共同参画の推進は、次に掲げる事項を基本理念として行われなければならない。

- ① だれもが、個人としての尊厳が重んぜられることにより、性別による差別的取扱いを受けることがなく、個人の能力及び個性を發揮し、自らの意思により多様な生き方を選択できること。
- ② 固定的な性別役割分担意識又は無意識の思い込みに基づく制度又は慣行が、社会における活動の自由な選択に対して影響を及ぼすことのないよう配慮されること。
- ③ 男女が、社会の対等な構成員として、市における政策又は事業者、教育関係者及び地域活動団体における方針の立案及び決定の過程に、共同して参画する機会が確保されること。
- ④ 男女が、相互の協力と社会の支援の下に、子育て、介護その他の家庭生活において、また、職場、学校、地域その他の社会生活において対等な立場で参画すること。
- ⑤ 男女が互いの性に対する理解を深め、妊娠、出産等の性及び生殖に関する個人の意思を尊重し合い、生涯にわたり安全かつ健康な生活を営むことができるように配慮されること。
- ⑥ だれもが、ドメスティック・バイオレンスその他の性別に起因する暴力を受けることがなく、個人として尊重されること。

4. 責務

(1) 市の責務

- ① 市は、前条に規定する基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、男女共同参画の推進状況を把握し、並びに施策を策定し、及び実施しなければならない。
- ② 市は、施策を実施するにあたっては、市民、教育関係者、事業者及び地域活動団体(以下「市民等」という。)並びに国及び他の地方公共団体と相互に連携しなければならない。

(2) 市民の責務

- ① 市民は、基本理念にのっとり、男女共同参画について理解を深め、家庭、学校、職場、地域その他の社会のあらゆる分野において男女共同参画の推進に努めなければならない。
- ② 市民は、家庭において、家事、育児、介護その他家庭生活における活動について男女が協力しあい、それぞれが固定的な性別役割分担意識にとらわれることなく生き方を選択できるよう努めなければならない。
- ③ 市民は、市が実施する施策に協力するよう努めなければならない。

(3) 教育関係者の責務

- ① 教育関係者は、男女共同参画の推進において教育が果たす役割が重要であるとの認識の下に、基本理念にのっとり、男女共同参画についての意識の形成に向けた取組を行うよう努めなければならない。
- ② 教育関係者は、市が実施する施策に協力するよう努めなければならない。

(4) 事業者の責務

- ① 事業者は、基本理念にのっとり、その事業活動において、個人の意欲、能力、個性等が尊重され、男女が共に参画することができるよう努めなければならない。
- ② 事業者は、雇用における男女の均等な機会及び待遇の確保を図るとともに、職業生活における活動、家庭生活における活動その他の活動を両立することができる職場環境を整備するよう努めなければならない。
- ③ 事業者は、市が実施する施策に協力するよう努めなければならない。

(5) 地域活動団体の責務

- ① 地域活動団体は、基本理念にのっとり、固定的な性別役割分担意識や慣行等を必要に応じて見直し、男女が共に参画できるよう努めなければならない。
- ② 地域活動団体は、市が実施する施策に協力するよう努めなければならない。

5. 基本体制

(1) 情報の収集及び調査

- ① 市長は、施策を策定し、効果的に実施するため、男女共同参画に関する事項について、情報の収集及び調査研究を行うものとする。
- ② 市長は、必要があると認めるときは、市民等に対し、男女共同参画に関する事項について報告を求め、又は助言することができる。

(2) 啓発活動

市長は、市民等に対し、男女共同参画についての関心及び理解を深めるために必要な啓発活動を行うものとする。

(3) 活動に対する支援

市長は、男女共同参画の推進に関する活動を行う市民等に対し、情報提供その他の必要な支援を行うものとする。

(4) 体制の整備

市は、施策を効果的に実施するため、相談や啓発活動を行うための拠点を設置する等必要な体制を整備するものとする。

(5) 男女共同参画審議会

- ① 男女共同参画の推進に関する重要事項を調査審議するため、市長の附属機関として八王子市男女共同参画審議会（以下「審議会」という。）を置く。
- ② 審議会は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議し、答申する。
 - ア 推進計画に関すること。
 - イ 前号に掲げるもののほか、男女共同参画の推進に関し、市長が必要と認める事項
- ③ 前各項に定めるもののほか、審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、市規則で定める。

6. 基本施策等

(1) 推進計画

- ① 市長は、施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、男女共同参画社会基本法（平成 11 年法律第 78 号）第 14 条第 3 項に規定する市町村男女共同参画計画（以下「八王子市男女共同参画推進計画」という。）を策定するものとする。
- ② 市長は、八王子市男女共同参画推進計画を策定するに当たっては、市民等の意見を反映することができるように必要な措置を講ずるとともに、審議会の意見を聴くものとする。
- ③ 市長は、八王子市男女共同参画推進計画を策定したときは、速やかにこれを公表するものとする。
- ④ 前 3 項の規定は、八王子市男女共同参画推進計画の変更について準用する。

(2) 実施状況の公表

市長は、毎年度、八王子市男女共同参画推進計画に基づく施策の実施状況を公表するものとする。

7. 禁止事項等

(1) 性別による権利侵害の禁止

何人も、家庭、職場、学校、地域その他の社会のあらゆる分野において、性別による差別的な取扱い、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメントその他の性別に起因する権利侵害に当たる行為を行ってはならない。

(2) 公衆に表示する情報に関する留意

何人も、公衆に表示する情報において、固定的な性別役割分担意識及び暴力的行為を助長し、又は連想させる表現並びに著しく性的感情を刺激する表現を行わないよう努めなければならない。

(3) 相談申出への対応

市長は、性別に起因する権利侵害その他の男女共同参画の推進を妨げる行為について、市民等から相談があったときは、関係機関と連携を図るなど適切な処理に努めるものとする。

(4) 苦情申出への対応

- ① 市長は、施策又は男女共同参画の推進に影響を及ぼすと認められる施策に関し、市民等から苦情の申出を受けた場合は、適切な措置を講ずるものとする。
- ② 市長は、前項の規定による処理を行うために必要な体制を整備するものとする。

(2) 定義

用語	意義
男女共同参画	男女が、社会の対等な構成員としてお互いを尊重し合い、自らの意思によって家庭、学校、職場、地域その他の社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保されることにより、男女がその個性及び能力を十分に発揮することができ、等しく政治的、経済的、社会的及び文化的利益を受け、かつ、共に責任を担うことをいう。
固定的な性別役割分担意識	個人の能力等によって役割を決めることが適当であるにもかかわらず、性別を理由として、役割を分ける考え方のことをいう。
無意識の思い込み	誰もが潜在的に持っている思い込みのことをいう。育つ環境、所属する集団の中で無意識のうちに脳にきざみこまれ、既成概念、固定観念となっていく。
市民	市内に居住し、通学し、又は通勤する者をいう。
教育関係者	市内において保育所、学校等、教育現場に関わる者をいう。
事業者	市内において事業を行う個人又は法人その他の団体をいう。
地域活動団体	町会、自治会その他市民を主な構成員として市内において活動を行う団体をいう。
ドメスティック・バイオレンス	配偶者その他親密な関係にある者（配偶者であった者その他親密な関係にあった者を含む。）からの身体的、精神的、社会的、経済的又は性的な暴力をいう。
セクシュアル・ハラスメント	性的な言動により相手方を不快にさせ、若しくはその生活環境を害し、又は性的な言動に対する相手方の対応によりその者に不利益を与えることをいう。